

科目名	食と育		
担当教員名	宮城 道子、鶴木 恵子、上垣内 伸子、徳野 裕子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

よりよい人間生活を追及していこうという本学部のコンセプトを本講義受講を通して理解する。複数の担当教員が各自の専門領域から「食」と「育」が交差統合するところに立ち現れたトピックについて講義する。

内容

1. 現在、食の安心・安全、輸入にたよりすぎている状況など食を取巻く環境は、急激な変化をみせている。その中で、近年の乳幼児から思春期までの食育のテーマは「生きる力」である。私たちはどのような食物を選ぶことが生きていくために必要な身体を育むか、自らの食生活を振り返りながら考えていきたい。(徳野)
2. 子どもたちに対する食育については「食育基本法」の中で、「心身の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼし、生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性をはぐくんでいく基礎となるもの」と説明されています。「食育」とは何か、そして人間生活学部で学ぶ皆さんが人間とその生活にダイレクトに関わる専門職として求められることは何か、地域社会、家庭、幼稚園・保育所、学校での実践を紹介しながら考えていきたいと思います。(上垣内)
3. 校長は学校栄養職員(栄養士)や給食調理職員の管理監督と業績評価を行う。管理とは学校給食の管理と食育指導を指す。栄養士、調理職員との会議等の体験や、学校給食法、食育基本法等をもとに、最新の学校給食の実態や学校情報をもとに3回の授業を構築し、受講生とともに、これからの食と育のストーリーを作り上げていく。(増田)
4. 食の過不足が私たちの体、特に身体疾患に影響を与えることはよく知られているが、食が私たちのこころや気分にもどのような作用をするかはあまり知られていない。本講義では、食がセロトニンやGABAなどの神経伝達物質にもどのような影響を与え、こころに作用するメカニズムを示す。精神疾患との関連なども取り上げる予定である。(鶴木)
5. 農村の女性たちが身近なニーズに対応して起こした事業の内容は、食に関するものが非常に多い。しかも地域の生産物や生活文化に強いこだわりをもつ「食」が再発見されたり、商品化されたりしている。食アメニティコンクールの表彰事例を中心に、食を通じた地域振興・生活文化伝承の可能性を考える。(宮城)

評価

ペーパーテスト70点および出席30点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	塩谷 幸子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

人は、その誕生から死に至るまで、生涯を通じて発達する可能性を持つ存在であるとの立場に立ち、文化や社会など周辺環境の影響や他者とのコミュニケーションによる相互作用の中で、いかにして自らの行動様式を変容・多様化しつつ自己のアイデンティティを確立し、生涯発達し続けることができるのかを考えたい。

内容

授業計画：

- 第1回 発達とは何か？
- 第2回 発達理論
- 第3回 発達理論
- 第4回 長寿時代の生涯発達理論
- 第5回 知能の発達
- 第6回 記憶の発達
- 第7回 人格の発達
- 第8回 関係性の発達
- 第9回 発達の阻害要因
- 第10回 アイデンティティの形成
- 第11回 人生の危機とアイデンティティの再構築
- 第12回 事例の検討
- 第13回 事例の検討
- 第14回 生涯発達の到達点・目標
- 第15回 レポート・テスト

評価

出席 (15点) , 受講態度・発表内容 (25点) , レポート・テスト (60点) を評価の対象とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

参考図書：

- 平山諭・鈴木隆男編著 『ライフサイクルから見た発達の基礎』 ミネルヴァ書房 2003
- 岡村祐子・松下美知子編 『新女性のためのライフサイクル心理学』 福村出版 2002
- 岡村裕子 『アイデンティティ生涯発達の展開』 ミネルヴァ書房 2007

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の特徴について学ぶ。特に、乳幼児期の身体的、心理的発達について焦点を当てる。

まず、生涯発達という概念について理解を深め、一生変化し発達していくものとしての人間の一生の中の最初期である乳幼児期の重要性を考える。そして、乳幼児期の発達とは何かについて、様々な側面から考える。また、生涯発達の観点から考えた障害についても理解を深める。

内容

- (1) 生涯発達とは： 生涯発達論の歴史的背景、 人間の発達、 エイジングについて
- (2) 生涯発達とライフコース： 様々な生涯発達観、 人間の生涯とライフコース、
発達課題とは、 発達段階論と発達課題論、 様々な発達段階論
- (3) 乳幼児期の発達： 乳幼児期の発達の重要性、 発達初期の子どもの能力、 身体的発達
- (4) 気質： 気質とは、 気質の生物学的基礎、 母子関係と気質
- (5) 情動の発達と愛着： 情動の機能の発達、 情動と対人関係、 愛着の機能と発達
- (6) 認知機能の発達： 認知発達を支える生物学的基礎、 動機づけ、 様々な認知発達
- (7) 言語機能の発達： 言葉とは、 言語発達を支える生物学的基礎、 言語発達の実際
- (8) 対人関係の発達、社会的認知の発達： 家族とは、 家族の影響、 仲間の影響、
社会的認知とは、 他者の存在の重要性と発達
- (9) 遊びとメディア： 遊びの意義、 ごっこ遊び・仲間遊び、 テレビや絵本とのかかわり、
様々なメディア利用
- (10) 反抗期と自律の発達： 反抗期とは、 子どもの反抗と社会化
- (11) 生涯発達の観点から考える障害： 発達課題と障害、 適応
- (12) 乳幼児期から児童期へ： 発達の移行期、 発達に伴う様々な変化
- (13) 女性のライフコース
- (14) まとめ
- (15) 試験

評価

平常点 (授業内の感想票) 20点、学期末の筆記試験80点として評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房
無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	生涯発達人間学		
担当教員名	長田 瑞恵		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	保育士資格 / 健康運動実践指導者 / 幼稚園教諭一種免許状 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

生涯発達という観点から人間をとらえ、人の一生の各時期の特徴について学ぶ。特に、乳幼児期の身体的、心理的発達について焦点を当てる。

まず、生涯発達という概念について理解を深め、一生変化し発達していくものとしての人間の一生の中の最初期である乳幼児期の重要性を考える。そして、乳幼児期の発達とは何かについて、様々な側面から考える。また、生涯発達の観点から考えた障害についても理解を深める。

内容

- (1) 生涯発達とは： 生涯発達論の歴史的背景、 人間の発達、 エイジングについて
- (2) 生涯発達とライフコース： 様々な生涯発達観、 人間の生涯とライフコース、 発達課題とは、 発達段階論と発達課題論、 様々な発達段階論
- (3) 乳幼児期の発達： 乳幼児期の発達の重要性、 発達初期の子どもの能力、 身体的発達
- (4) 気質： 気質とは、 気質の生物学的基礎、 母子関係と気質
- (5) 情動の発達と愛着： 情動の機能の発達、 情動と対人関係、 愛着の機能と発達
- (6) 認知機能の発達： 認知発達を支える生物学的基礎、 動機づけ、 様々な認知発達
- (7) 言語機能の発達： 言葉とは、 言語発達を支える生物学的基礎、 言語発達の実際
- (8) 対人関係の発達、社会的認知の発達： 家族とは、 家族の影響、 仲間の影響、 社会的認知とは、 他者の存在の重要性と発達
- (9) 遊びとメディア： 遊びの意義、 ごっこ遊び・仲間遊び、 テレビや絵本とのかかわり、 様々なメディア利用
- (10) 反抗期と自律の発達： 反抗期とは、 子どもの反抗と社会化
- (11) 生涯発達の観点から考える障害： 発達課題と障害、 適応
- (12) 乳幼児期から児童期へ： 発達の移行期、 発達に伴う様々な変化
- (13) 女性のライフコース
- (14) まとめ
- (15) 試験

評価

平常点 (授業内の感想票) 20点、学期末の筆記試験80点として評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

- 【教科書】無藤隆・岩立京子編著 『乳幼児心理学』 北大路書房
無藤隆・藤崎真知代編著 『発達心理学』 北大路書房

科目名	児童学概論		
担当教員名	増田 吉史、赤井 美智子、綾井 桜子、金勝 裕子 他		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

児童幼児教育学科の学生は、卒業必修科目である。他の学科の学生には選択科目となる。子どもについて学ぼうとする一年生に向けて、児童学とはどのような学問か、児童幼児教育学科の専任教員が分担して講義を展開する。受講する学生が多い為、座席指定となるが、大学での90分間に及ぶ講義とはどのようなものか慣れてもらいたい。まずは、遅刻せずに3分前に座席に着席すること。講義をしっかりと聴いて、要点をノートにとることなど、ノート・テイキングの基本的スキルを身につけてもらいたい。

内容

子どもについて学ぼうとする時、さまざまな領域があり、それに伴って種々の方法論がある。子どもを研究する時の研究方法について、今年度は次の担当教員が、関心を寄せている課題を取り上げて、自分の研究方法によって分析、解説を行っていく。

4月13日	皆川美恵子	オリエンテーション、並びに、児童学とはどのような学問か
4月20日	綾井 桜子	
4月27日	狩野 浩二	
5月11日	黒瀬 任通	
5月18日	神山 輝夫	
5月25日	長田 瑞江	
6月1日	赤井 美智子	
6月8日	野口 隆子	
6月15日	上垣内伸子	
6月22日	平田 智久	
6月29日	金勝 裕子	
7月6日	清水 玲子	
7月13日	坪倉紀代子	
7月20日	山本 悟	
7月27日	増田 吉史	試験

評価

授業への取り組み方や参加態度：50%

試験：50%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書はないので、学生各自がとった「講義ノート」が教科書となる。

各担当教員が講義の中で、参考図書の紹介や資料の配布を行なう場合がある。

科目名	人間栄養学概論		
担当教員名	濱口 恵子、小島 彩子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

良い食事をつくるには正しい食事の概念を学ぶ必要があり、特に栄養の知識がその中核となる。人間栄養学で扱う内容は非常に広範囲にわたるが、栄養素の生理的機能に重点を置き、食物として摂取した栄養素が体内でどのような変化を受け利用されるか、また日常の食事からエネルギーや栄養素をどのくらい摂取するのが適正であるかなどについて講述する。

内容

1. 栄養の基本概念（良い食事・栄養の重要性・生活習慣病の予防・生存のための食物の役割）
2. 日本人の食事摂取基準（2005年度版）の概略
3. 炭水化物（炭水化物の定義、炭水化物の種類と主な食品源）
4. 糖質の機能と栄養（糖質の消化吸収と体内における分布、糖質の代謝とエネルギー産生、糖質の過剰と欠乏）
5. 食物繊維（食物繊維の種類と主な食品源、食物繊維の機能）
6. 脂質（脂質の定義と分類、主な脂肪酸の種類と体内における分布、必須脂肪酸と脂肪酸の摂取比率）
7. 脂質の機能と栄養（脂質の消化吸収と輸送、脂質の代謝とエネルギー産生、脂質の過剰と欠乏、主な食品源）
8. たんぱく質（たんぱく質の定義とアミノ酸の種類、必須アミノ酸、食品中のたんぱく質の栄養価）
9. たんぱく質の機能と栄養（たんぱく質の消化吸収と分布、たんぱく質の過剰と欠乏、主な食品源）
10. ビタミンの定義とビタミン様物質、水溶性ビタミン（分布・機能・過剰および欠乏症・主な食品源）
11. 脂溶性ビタミン（分布・機能・過剰および欠乏症・主な食品源）
12. 無機質の定義、マクロミネラル（分布・機能・過剰および欠乏症・主な食品源）
13. ミクロミネラル（分布・機能・過剰および欠乏症・主な食品源）
14. 保健機能食品制度と栄養成分表示制度
15. 健康の保持増進と栄養（健康づくりのための食生活指針・動物性および植物性食品・献立作成のための基礎食品・食事バランスガイド）

評価

所定の出席回数に達した学生に対しペーパーテストを実施する。60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】林寛著 『栄養学総論 4版』 三共出版

【推薦書】濱口恵子・小松啓子・佐藤文代共著 『小児栄養学 - 子どもの発育と食事 - 』弘学出版

科目名	女性学概論		
担当教員名	宮城 道子、橋本 ヒロ子、平田 智秋、星 三和子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会において、「女性であること」とはどういうことかについて、さまざまな分野から検討する。自分自身の女性性を日常生活や社会状況、また人間関係を通して見直し、ジェンダー(社会的文化的性差)にとらわれない多様な生き方について考える。また、それを可能にする意識や考え方、新たな制度の成立などを知ることによって、今後、社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できることをめざす。

内容

- 1.オリエンテーション：十文字学園創設者・十文字ことの生涯
- 2.-5.「ジェンダーとは何か」(宮城)...女性が結婚しなくなり、子どもを産まなくなったといわれる。それはなぜか?経済大国、技術立国といわれて久しい日本だが、世界的にみると女性の社会参加指標は低い。国際女性年以来のわが国の男女共同参画の取り組みを振り返り、女性の経済的自立や社会参加の変化をジェンダー視点から確認する。
- 6.-8.「アイデンティティとジェンダー」(星)...発達心理学の視点からジェンダーの問題を考える。生まれたときから、日常の中の「隠れたカリキュラム」によって無意識のうちに作られる「性役割」の概念、ステレオタイプを受け入れる心理的メカニズムとそれからの解放、アイデンティティとジェンダー等について講義する。
- 9.-11.「女性の政治参画と人権」(橋本)...世界と日本でどのように男女平等が達成されてきたか、その中で特に日本女性が遅れている「政治への参画」について、ポジティブアクションの有効性などもふくめ、考察する。さらにデートDV、キャンパスセクハラなど女性に対する暴力が、男女の権力関係により起こり、政治と関係していることを学ぶ。
- 12.-14.「女性の身体性」(平田)...生まれ、食べ、育ち、動く。人間の基礎には動物としての身体の働きがある。脳科学、身体科学、進化論などの知見を概観しながら、「女性の身体性」について考えていく。
- 15.まとめと講評

評価

レポートないしはテストによる各教員の評価(20点×4)と受講態度(20点)による。各教員の評価は、原則として担当講義の最終回に行なわれる。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：岩男寿美子・加藤千穂編『女性学キーワード』1997、有斐閣 367.2/J

独立行政法人国立女性教育会館・伊藤陽一編『男女共同参画データブック - 日本の女性と男性』2006、ぎょうせい R367.21/D

加藤秀一『知らないと恥ずかしいジェンダー入門』2006、朝日新聞社 367/K

科目名	女性学概論		
担当教員名	宮城 道子、片居木 英人、亀田 温子、宮丸 凱史		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

現代社会において、「女性であること」とはどういうことかについて、さまざまな分野から検討する。自分自身の女性性を日常生活や社会状況、また人間関係を通して見直し、ジェンダー（社会的文化的性差）にとらわれない多様な生き方について考える。また、それを可能にする意識や考え方、新たな制度の成立などを知ることによって、今後、社会で活躍する自己イメージを明確にし、自信をもって積極的に社会参加できることをめざす。

内容

- 1.オリエンテーション：十文字学園創設者・十文字ことの生涯
- 2.-5.「ジェンダーとは何か」（宮城）...女性が結婚しなくなり、子どもを産まなくなったといわれる。それはなぜか？経済大国、技術立国といわれて久しい日本だが、世界的にみると女性の社会参加指標は低い。国際女性年以来のわが国の男女共同参画の取り組みを振り返り、女性の経済的自立や社会参加の変化をジェンダー視点から確認する。
- 6.-8.「人の成長とジェンダー/家族・教育から考える」（亀田）...わたしたちは日常の生活の中で、知らず知らずのうちに「男/女らしさ」というジェンダー（社会的文化的性差）を身につけるようだが、子供をめぐるさまざまな環境、家族のあり方や学校教育はどのようにジェンダーと関係していたのか。自分の体験した成長環境をジェンダー視点から再考し、ピンクの好きな男の子と幼稚園の先生のビデオ「Think Pink」や、絵本やテレビのメッセージ分析をしてみる。同時にジェンダーにとらわれない多様な生き方・生活を始めた人たちを紹介し、人の成長とジェンダーについて考える。
- 9.-11.「超高齢社会における女性の健康・生きがい」（宮丸）...戦後日本女性の平均寿命は驚異的に延伸して世界一である。2050年には、平均寿命が90歳になるとも予測されている。残り4/5の長い人生を女性として如何に「健やかに・遅しく」生きるのだろうか？そのための叢知を学んでほしい。21世紀の女性の健康課題は、壮年期死亡の減少、健康寿命の延長、QOLの向上であるが、そのための知恵について、とりわけ、「運動健康法」に焦点をあてて授業を展開する。
- 12.-14.「女性とセクシュアリティ」（片居木）...基本的人権としての性的人格権（セクシュアル・ライツ）に焦点を合わせる。性暴力、多様な性、性感染症、生殖補助医療など、現代社会には「女性と性」に関わる人権問題が横たわっている。切り離せない生と性、すなわちセクシュアリティ問題は大変価値判断が難しい内容を伴っているが、問題の可視化と性的自己決定のエンパワーメントをめざして授業を展開する。
- 15.まとめと講評

評価

レポートないしはテストによる各教員の評価（20点×4）と受講態度（20点）による。各教員の評価は、原則として担当講義の最終回に行なわれる。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：岩男寿美子・加藤千穂編『女性学キーワード』1997、有斐閣 367.2/J

独立行政法人国立女性教育会館・伊藤陽一編『男女共同参画データブック - 日本の女性と男性 - 2006』 20

06、ぎょうせい R367.21/D

加藤秀一『知らないと恥ずかしいジェンダー入門』2006、朝日新聞社 367/K

科目名	女性学概論		
担当教員名	亀田 温子、橋本 ヒロ子、宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

女性学概論では、社会の中で「女性であること」とはどのようなことなのかを、様々な分野から検討する。ここでは、本学の創設者である「十文字こと」の生き方に焦点をあて、「十文字こと」という一人の女性を入り口に時代と女性の生き方、社会での活躍を探り、さらにどのように女性を育てる教育を行ったかその建学の精神をとらえる。現代の女性たちである学生をエンパワーメントし、ことの志と生き方を十分に理解し、自分の生き方につなげる学習とする。本科目は建学精神を理解する科目として、十文字スタンダード科目として開講する。

内容

- 1.オリエンテーション：十文字こと・その生涯を知る ビデオ「春風のように」を視聴し、時代と外観をとらえる。同時に、女性運動の展開と女性の教育の進展についても、その関連をとらえる。
- 2 - 4 事業を起こす女性の先見性：教師をつとめ結婚後は、夫がおこした事業のパートナーとして尽力したこと、50歳代になってから教育事業を起こすなど、当時としては先進的なことであった。経営参画が建学の精神にいかに関わりついたか検討し、現代の女性起業の意義にも検討する。
- 5 - 7 政治参画の動き：大正末期の学園創設期は日本の女性参政権獲得運動が始まった時期である。戦前から戦後のかけて、どのように女性の政治参画が進んできたか、諸外国とも比較しながらその動きをとらえる。またDVなど女性に対する暴力が男女の権力関係により起こることなども学ぶ。
- 8 - 10 新しい時代の女性：そのライフサイクルから、明治初期に生まれ恵まれた状況ではなかったが、今の大学教育に相当する師範学校で教育を受け、最先端の女性の職業である教師と成り、さらに50歳をこえて学校を作り次世代の女性たちの教育事業にのりだした。今日で言えばまさに、新しい生き方を自ら行ったキャリア・ウーマンであり、社会に役立つ生き方を自ら行ったことをとらえる。
- 11 - 13 身体と心の健康：自彊術を学校の正規科目に取り入れるなど、女性の体格と健康の問題をとらえたことは、今日の「女性と健康」の問題にもつながる重要な視点である。今も続くこの身体と女性の問題を時代を追ってとらえ、今の女性たちが遭遇する問題にもふれる。
- 14 十文字ことのおしえを、現代に生かす
- 15 まとめと講評

評価

レポートまたはテストによる各教員の評価（20点×4）と出席態度（20点）。60点以上が合格。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業時に紹介する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1．プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2．表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3．ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4．マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	2Gクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1．プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2．表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3．ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4．マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	人間生活論		
担当教員名	宮城 道子、井上 久美子、江川 玫成		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1年	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	0
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

生活とは人間が生きるために行なうあらゆる行動およびその過程である。この総合的な生活を理解するためには、多様なアプローチが必要となる。本科目では、生活にかかわる学際的・現代的課題をとりあげ、多面的で柔軟な生活の理解をめざす。さらには、生活の主体としての人間への理解を深め、専門的知識・技術についての学びの共通基盤の獲得をめざす。

内容

講義のはじめに「学び」とは何かを考える。その上で、生活を対象に学ぶために必要な概念を整理する。授業の後半においては、多様な生活主体によって成立する現代社会を理解するために、今日的・具体的テーマを取り上げる。生活の自立・自律の意味を考える契機としたい。

1	生活理解へのアプローチ - 生活を学ぶとは
2	専門職としての学びと自己成長
3	個人の成長・発達と生活
4	生活の主体 - 生活単位・生活領域
5	生活の過程 - 生活(消費)過程・生産過程・交換過程
6	生活の広がり - 生活時間・生活空間・生活情報
7	生活の手段 - 生活財とサービス・ストックとフロー
8	生活の社会化 - 外部化・商品化・共同化
9	生活の文化 - 生活構造・生活様式・継承と変化
10	現代社会にみられる食行動
11	食生活から見た栄養・健康・QOL
12	グリーン・ツーリズムと地域振興
13	ふるさと資源とコミュニティ
14	生活の自立・自律と共同・協同 - これからの公共私
15	試験

評価

出席および受講態度(10点)、レポート(30点)、試験(60点)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書: 松村祥子・岩田正美・宮本みち子『現代生活論』有斐閣、1988

天野正子『「生活者」とはだれか - 自律的市民像の系譜』中公新書、1996

林良博・高橋弘・生源寺真一『ふるさと資源の再発見』家の光協会、2005

科目名	青年心理学		
担当教員名	伊藤 美紀		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格 / 認定心理士 (心理学科)		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

青年期とは、およそ中学校入学の頃から大学卒業の頃までの時期を意味している。

この時期に、人はさまざまな問題にぶつかり、悩みながら成長していくこととなる。

「人は信じられるのだろうか?」「友人ってなんだろう?」「本当の自分って何?」「自分の人生の意味(価値)は?」「自分の人生はこの先どうなるの?」「自分のルーツは?」などの疑問について誰もが一度は頭をかすめたことのあるものではないだろうか?

この授業では、青年期の発達の特徴や発達課題について学ぶとともに、青年期後期にある学生自身の自己探求のきっかけ作りを行い、自己理解の深化と人格の発展に役立つことを目指したい。

内容

1. 授業ガイダンス
 2. 青年心理に関する諸説
 3. 青年期の課題
 4. 身体について
 5. 自己意識について
 6. 対人関係(親子関係・友人関係)について
- 各テーマについて、講義のみでなく受講者の参加を求めます。(心理テスト・ワークなど)

評価

出席(授業中の課題・小レポートの提出)60点

学期末のレポート40点

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】落合良行・伊藤裕子・斉藤誠一著 『青年の心理学(改訂版)』 ベーシック現代心理学4 有斐閣

科目名	老年学概論		
担当教員名	安岡 芙美子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標 ）

加齢現象のもたらす個人的、社会的な意義を把握する。

高齢者をとりまく社会状況について理解させる。

高齢社会の進展の中で高齢者福祉の意義と概要を学習する。高齢者を取り巻く社会的状況を理解し、高齢者福祉制度について学ぶ。

内容

少子高齢社会の到来と意義について

加齢に伴う心身の状態の変化とその意味

高齢者家族の変容について

地域社会と扶養機能の変化について

経済生活と年金について

就労と社会参加について

介護問題と社会福祉サービスについて

評価

出席、レポートで30点、試験で70点とする。欠席が多い場合（3回以上）は出席点を差し引く。

3分の2以上の出席をもって試験の受験可。試験、出席、レポートを合計し評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】改訂『新選 一部改訂 高齢者福祉論』 みらい

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれらがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

各授業後に質問・感想等を書いて提出してもらい、出席のかわりとする。それとあわせて最終的評価は全授業終了後の試験により行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

各授業後に質問・感想等を書いて提出してもらい、出席のかわりとする。それとあわせて最終的評価は全授業終了後の試験により行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	子育て支援論		
担当教員名	向井 美穂		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	保育士資格		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

近年少子化の問題は深刻なものとなっており、様々な子育て支援の必要性が叫ばれているが、少子化の流れは以前改善されてこないのが現状である。そこで本授業では、少子化が進む背景には何があるのかを探りながら、本当に必要とされている子育て支援とは何かを考えていく。また実際に行われている子育て支援にはどのようなものがあり、いかに機能しているかを具体的事例を参考にしながら学んでいくことで、子どもを育てるとはどういうことか、親の心理的サポートという観点も含めて理解をすすめる。

最終的には子どもにとって必要とされている支援とは何かを考えながら、子どもを育てていくことの大切さについて受講生各人の考えを深めていくことを目的としている。

内容

実際の子育て支援の具体的事例を紹介する。また現代の子育ての現状を知ってもらうために視聴覚教材を用いてより具体的に子育てについての理解を深める。その後、子育て支援が必要とされるようになった背景について考え、それに対する施策等を紹介する。その上でどのような子育て支援のがありそれがいかに機能しているかを理解した後、真に必要とされる子育て支援について考えていくことを最終的な目標とする。

評価

各授業後に質問・感想等を書いて提出してもらい、出席のかわりとする。それとあわせて最終的評価は全授業終了後の試験により行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】橋本真紀・山縣文治編 『よくわかる家族援助論』 ミネルヴァ書房 2007年 369.4/Y

【推薦書】汐見稔幸編著 『世界に学ぼう！子育て支援 デンマーク・スウェーデン・フランス・ニュージーランド・カナダ・アメリカに見る子育て環境』 フレーベル館 2003年 369.42/S

科目名	人間生命科学		
担当教員名	志村 二三夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間生命科学は、科学的素養としての基礎生命科学の初歩や、生命体としての人体の構成と特性を学ぶ。近年目覚ましい発展を遂げてきたバイオサイエンスに親しみ、“生命とは何か”という永遠のテーマについて思索する上でも不可欠な、物質生化学や代謝生化学の基本的な知識・理解を充実させるとともに、簡単な医化学的知識を身につけることもめざす。生体機械論に対する拒絶や偏見を取り除くこともねらいとする。

内容

テキストを使用した講義を中心とする。

- 1.生命とは何か：人間生活＝じんかんいきいき
- 2.生物の本質的属性
- 3.生命の基本単位：細胞
- 4.生命の基本単位：細胞
- 5.生命と生体の秩序
- 6.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 7.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 8.ミクロの機械としてのタンパク質、そのエネルギー源としてのATPの重要性
- 9.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 10.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 11.遺伝子はタンパク質の設計図：遺伝子の実体とその発現
- 12.生きることは栄養すること：なぜ人間は他の生命体を食べるのか
- 13.エネルギー栄養素は人体内では燃えない：どうやってATPをつくり、酸素を利用するのか
- 14.エネルギー栄養素は人体内では燃えない：どうやってATPをつくり、酸素を利用するのか
- 15.再び生命とは何か：地球環境・人間と生命・geneとmeme

評価

ペーパーテストにより評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】木下勉・小林秀明・浅賀宏昭 『ZEROからの生命科学』 南山堂

【推薦書】石田均・板倉弘重・志村二三夫・田中清(編著) 『臨床医科学入門』 光生館 492/R

横越英彦(編著) 『代謝栄養学』 同文書院 498.5/Y

五十嵐脩・志村二三夫(編著) 『生化学』 光生館 491.4/S

科目名	人間栄養学概論		
担当教員名	山田 和彦		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	養護教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人の健康は長い間にわたって良い食事を摂取することで保たれ、個人の健康は家族の幸福へと連がる。良い食事を作るには、正しい食事の機会を学ぶ必要がある。栄養学は健康で幸福な人生を営むための食の理論である。その内容は非常に広範囲にわたるので、3大栄養素については『基礎栄養学(濱口恵子担当)』で主として学び、ここでは微量栄養素であるビタミン・無機質・体内の水などについて詳しく説明する。また、エネルギー代謝や各種栄養素をどのくらい摂取するのが適正であるかについて講述する。

内容

1. 栄養の基本概念：栄養の重要性・良い食事・生存のための食物の役割
2. 健康の保持増進と栄養：食生活指針・動物性および植物性食品・各種の食品群と栄養特性
3. 炭水化物、脂質、タンパク質の機能と栄養特性：3大栄養素の相互関連・食物繊維・脂肪酸の摂取バランス・アミノ酸の摂取バランス
4. 水溶性ビタミン：ビタミンの概念・ビタミンB群と補酵素・ビタミンC・ビタミン類似物質
5. 脂溶性ビタミン：ビタミンA・ビタミンD・ビタミンE・ビタミンK
6. マクロミネラル：ミネラルの一般的機能・カルシウム・リン・マグネシウム・ナトリウムと塩素・カリウム・硫黄
7. ミクロミネラル：鉄・ヨウ素・亜鉛・マンガン・フッ素・セレン・クロム・モリブデン
8. 水と電解質：体内の水・水の出納・内部環境としての体液・体液の組成
9. エネルギー代謝と食品のエネルギー：エネルギー代謝・基礎代謝と活動代謝・食品のエネルギーとエネルギー換算係数
10. 日本人の食事摂取基準(基準の概略：エネルギー・タンパク質・脂質・炭水化物・食物繊維・ビタミン・ミネラル)

評価

出席40点、及びペーパーテスト60点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】江指隆年・山田和彦・志村二三夫他共著 『基礎栄養学』 同文書院

【推薦書】林寛著 『栄養学総論 4版』 三共出版 498.55/H

管理栄養士国家試験教科研究会編 林寛他4名共著 『栄養学総論』 第一出版 498.145/K/8

厚生労働省策定 『日本人の食事摂取基準・2005年版』 第一出版 498.55/N

科目名	健康科学概論		
担当教員名	森 三樹雄		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

わが国は先進国として、少子高齢化が社会問題となっております。

高齢化と共に、生活習慣病が国民の健康をむしばむようになってきました。

生活習慣病には、糖尿病、痛風、肥満、心筋梗塞、脳梗塞、がんなどがありますが、

これらの病気の原因、検査、治療を理解することが必要です。その他の病気についても勉強し、

幅広い知識を身につけましょう。管理栄養士をめざしている人は、この講座で、疾病についての基本的な知識を身につけましょう。

内容

1	健康と病気
2	根拠に基づいた医療（EBM）日本の疾病？ チーム医療
3	健康増進と生活習慣（栄養、運動、休養）
4	健康増進と生活習慣（嗜好品、ストレス、休養、喫煙、飲酒）
5	病気の原因（内因と外因）
6	感染症（HIV感染症、新興感染症、再興感染症、日和見感染症）
7	血液疾患と貧血
8	メタボリック症候群と循環器疾患
9	高血圧と生活習慣
10	代謝疾患（糖尿病、痛風）と生活習慣
11	糖尿病と生活習慣
12	悪性腫瘍（がん）と生活習慣
13	生活習慣病とメタボリックシンドローム 特定健診・特定保健指導
14	ペーパーテスト
15	アレルギー・膠原病

評価

出席30点 + ペーパーテスト70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教科書 森 三樹雄編 『やさしい臨床検査』 南山堂 2008

科目名	食文化人類学		
担当教員名	沢野 勉		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

世界各地には、さまざまな食べものがあり、それぞれ食習慣も異なっている。本講では食を文化の視点で捉えて、各地の食べもの、食習慣、食作法などを比較・考察する。食生活は気候・風土、生産条件、経済などの影響を受けるのは当然だが、これは同時に、その地域の人びとの自然観、宗教、文学や芸術の世界とも深く結びついている。食と人間と社会の関係を広い視野で見つめて、いろいろなジャンルの話題を探して、食の課題を考えていくのが本講のねらいである。

内容

1. 食文化人類学と学習の意義；文化と文明 / culture、agriculture、viticulture / 文化人類学の諸分野と食文化人類学の位置づけ
2. 風土と食物；アジアモンスーン地帯の特性 / 和辻哲郎『風土』の問題提起 / 「湿」の文化と「乾」の文化 / わび・さびの自然観 / 「水に流す」と「湯水のように」 / 生在蘇州、住在杭州、衣在上海、食在広州、死在柳州 / ベトナムのフランスパン - 植民地支配と食
3. 食の思想と肉・魚；森の民と豚 - ドイツでのヴルストの発達 / グリム童話にみる食 / 羊の家畜化と遊牧民の生活 / 日本人と魚食 / 宗教と食物禁忌 / イスラム教の豚とヒンズー教の牛 / 仏教と食
4. 日本人と米；宮澤賢治『雨ニモマケズ』に見る米 / 粉食と粉食と食の規制 / しゃもじ権と女性の地位 / 麹文化の発展と微生物工業
5. 日本における東西の食文化；サケ圏とブリ圏 / 食塩摂取の地域差 / 土用のうなぎと牛肉 / ラーメンのだしの地域差 / 丸餅と切餅 / 納豆と豆腐
6. 食の道具と食作法；箸食と手食 / パスタとフォーク / 日本の食卓での匙の欠落 / 食器の個用と共用 / 箱膳の知恵 / 食卓でのDIY
7. 食のことばと表現；食べものの雅称と忌みことば / ことわざにみる食生活の知恵 / ネーミング考

評価

出席30点及びレポート70点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テキストは使用せず、主としてノートによる。参考書は随時紹介する。関係用語のプリント配布。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	亀田 温子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

大学生の女性たちが幅広く「自分・社会・しごと・未来」について、どのように考えられるか、現代社会の動きに合わせてさぐっていく。現代の女性は活躍できない領域がないといわれるくらし、様々な領域に進出し多領域での活躍を見せるとどうじに、これまで少なかった管理職進出、起業家として会社を運営するなど地位の上昇もあり、ヨコとタテの拡大が起きている。さらに職業生活と家庭生活の両立を可能にするワークライフバランスについても、それを支援するという動きがある。女性自身の意識や行動の変化、さらにそれを支える企業の制度の変化、女性の活躍を望む社会の動きなど、変化する職業と女性の動きを探り、それと自分との関係、自分自身のキャリアプラン作りにつなげる。

内容

1 : 10年後の私は？

自分をさぐる地図づくり、10年後のわたしをイメージする。

2 - 3 : ライフサイクルの変化 : 時代と生き方の変化など、生活の基本となるライフサイクルの変化wをデータからとらえる。祖母の時代、専業主婦・パートの母の時代、少子化の私の時代

4 - 5 家庭の変化 : 結婚観の変化、その実態の変化、男女の関係性の変化など、家庭での女性の役割の変化をとらえる。家庭生活と職業生活を男女が共に担いつつある現状。

6 - 7 : 職業生活と女性との関わり : 仕事にかかわった長い歴史。専業主婦が誕生した近代社会と高度成長期。限られた専門職進出から、企業社会への女性の進出の実態をとらえる。

8 - 9 : 女性のチャレンジ : 女性の医者第1号はいつ？ 最近でもまだ女性第1号は誕生。

大工から宇宙飛行士までと多様な領域への進出(ヨコの拡大)。部長や社長になり組織を動かす女性たち(タテの拡大)

10 - 11 : ジェンダー意識の変化 : 何が変化したのか。「女性」をめぐる意識の変化、教育、行動の変化社会にかかわり、参画していこうとする女性の意識の拡大。

11 - 12 : 世界の動き : 諸外国の女性たちの動き。政治など決定の場への進出とその現状。

女性の活躍を支援する、世界の動きや国連の制度作り

13 - 14 : 女性たちのキャリア形成 : 日本の現状から、さまざまなキャリア・パターンの道を歩む女性たちの実態を追う。またキャリアを形成するプロセスをさぐる。

15 : わたしのキャリアプラン作りは？ 自分自身の意識が、様々な事柄やデータから、どのように変化し、キャリアに向かっているか、自分の意識形成をとらえる。

評価

課題提出、レポートが60点、授業参加状況30点、出席10点、の合計100点で評価し、60点以上を合格点とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

テーマごとに資料配布。関連図書は授業時に紹介する。

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	小林 実		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

明治時代に生まれた「女学（じょがく）」と、その教育の行く末を、ひとりの女性の生涯を通してながめながら、女性と文学、女性と政治、女性と経済など、日本近代史の各分野と女性との関わりを考察することを目的としています。

内容

カリーライスやボルシチで有名なレストラン・新宿中村屋。各地のデパートにも出店して、月餅や煎餅などの贈答用菓子の販売も手がけている、おなじみの老舗は、かつて大正時代から昭和初期にかけて、美術家や作家、俳優、宗教家、政治家などが、文字どおり世界中から集まる「サロン」の場となっていました。その立役者となるのが女将である、相馬黒光です。

没落士族の家庭に育ち、明治の女学校教育を経て、やがて近代のハイカラ文化を一身に背負うことになる彼女の生涯には、巖本善治、島崎藤村、星野天知、国木田独步、内村鑑三、荻原碌山、中村彝（つね）、秋田雨雀、神近市子、頭山満、エロシエンコ、ボース、松井須磨子、etc.....じつに多彩な顔ぶれが関わり、さながら近代日本文化の中継点の観を呈しています。

この黒光の生涯を軸に、幕末から昭和初期にかけての、政治史・文学史・文化史を多角的に論じていきたいと思えます。

評価

毎回の授業時に提出するリアクション・ペーパー（50%）、学期末レポート（50%）。合計60%以上を合格とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【推薦書】相馬黒光『黙移 相馬黒光自伝』（平凡社ライブラリー）、宇佐美承『新宿中村屋相馬黒光』（集英社）、臼井吉見『安曇野』（筑摩書房）

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	中嶋 公子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

男女共同参画とは、男女が社会のあらゆる分野に平等に参画することを言います。フランス女性史を通して、フランスでは男女共同参画がどのように実現されてきたかを見ます。1970年代に始まったフランス女性史は、ジェンダーの視点から、それまでのフランスの歴史が、いかに固定的な視点、男性の視点で作られ語られてきたかを明らかにしました。そうして、歴史の中から、女性たちの具体的な生活を生き生きと描き出し、また、時代の制約を越えて、女性の新しい生き方を創り出した女性たちを掘り起こしました。彼女たちは、時代の女性像とどうたたかい、どんな悩みをもち、どう生きたのか、その時代のなにを変えたのか。近現代を中心に、そうした女性たちを通して、フランス女性史を学びます。そして、日仏の女性たちがいまどういう問題を抱えているのか、同じ点、ちがう点を比較しながら、現代の女性たちの生き方や男女関係のあり方について考えます。

内容

1. フランス女性史はなぜ、どのように生まれたのか
2. 中世 聖母マリア像とキリスト教の時代 クリスチーヌ・ド・ピザン
3. 近代(1) フランス革命の時代 オランブ・ド・ゲージュ
4. 近代(2) 良き母・良き妻像と戦争の時代 フロラ・トリスタン、マルグリット・デュラン
5. 現代(1) 固定的な女性像への疑問の時代 シモーヌ・ド・ボーヴォワール、ココ・シャネル
6. 現代(2) 女性像を女性が自分で選ぶ時代 シモーヌ・ベイル、セゴレーヌ・ロワイヤル他

・以上の内容を主にパワーポイントで、写真やイラスト、またDVD、ビデオなども使いながら進めます。

評価

出席(出席率、出席カードの記述内容)25点及び課題レポート25点、期末レポート50点により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】イヴォヌヌ・クニピレール/カトリーヌ・フーケ『母親の社会史』筑摩書房 367.235/K

シモーヌ・ド・ボーヴォワール『決定版 第二の性』全3冊 新潮文庫 367.2/B/1-3

ミシェル・ペロー『フランス現代史のなかの女たち』日本エディタースクール出版部 367.235/P

【参考図書】G・デュビィ、M・ペロー監修『女の歴史』全5巻10分冊 藤原書店

オリヴィエ・ブラン『女の人権宣言-フランス革命とオランブ・ド・ゲージュの生涯』岩波書店

棚沢直子・草野いづみ『フランスには、なぜ恋愛スキャンダルがないのか?』はまの出版

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	夏目 康子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

文学から読み解くジェンダー論

小説、物語、映画、アニメーションに描かれたヒロインたち

小説、物語、映画、アニメーションなどで、ヒロインたちがどのように描かれてきたかを検討しながら、ジェンダーについて考える。扱う作品は、『ジェイン・エア』『プライドと偏見』『不思議の国のアリス』『秘密の花園』『若草物語』『赤毛のアン』『ライオンと魔女』や、ディズニーのアニメーション『白雪姫』『シンデレラ』などである。文学作品をもとにした映像作品も検討の対象とする。また、新しい女性像を提起する最近の英米の映画についても検討する。

毎回、与えられたテーマによるコメントペーパーを提出してもらう。教科書は使用せず、プリントを配布する。

内容

1	ジェンダーとは何か
2	ディズニー『白雪姫』のプリンセス
3	ディズニー『シンデレラ』のプリンセス
4	『プライドと偏見』 - 主張するエリザベス
5	『ジェイン・エア』 - 自立するジェイン
6	『不思議の国のアリス』1 - ひとり冒険するアリス
7	『不思議の国のアリス』2 - 大人の女性たち
8	『若草物語』1 Tomboyとしてのジョー
9	『若草物語』2 おてんばジョーの行方
10	『赤毛のアン』1 -型破りのアン
11	『赤毛のアン』2 「家庭」へ回帰するアン
12	『秘密の花園』 - 再生するメアリ
13	『ライオンと魔女』における少年少女たち
14	映画における女性像 - 新しいシンデレラ
15	試験

評価

試験70点、平常点(コメントペーパー、発表)20点、出席点10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書

若桑みどり『お姫様とジェンダー アニメで学ぶ男と女のジェンダー学入門』ちくま新書

小倉千加子『「赤毛のアン」の秘密』岩波書店

高田賢一 『もっと知りたい名作の世界 若草物語』 ミネルヴァ書房

科目名	男女共同参画論		
担当教員名	宮城 道子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

女性の地位向上、男女共同参画の推進という国際的課題への取り組みによって、わが国の女性たちの働き方はおおきく変化した。なかでも、女性たちが自ら事業を起こすという活動は、様々な意味でオルタナティブな提案を含み、注目を集めてきた。先進国における女性の起業動向や発展途上国における所得創出事業も視野におきながら、現代社会における女性の働き方を検討する。

事例検討にあたっては、履修者が分担して発表・報告を行なうようにする。能動的・主体的な履修者を歓迎する。

内容

1	女性の労働・職業観の歴史的変化
2	女性の働き方に関する国際比較
3	女性の起業が社会的関心となった社会的状況
4	わが国における女性起業の動向
5	事例検討1：生活ニーズからの起業
6	事例検討2：生活技術とビジネスチャンス
7	事例検討3：家族自営における経営参画
8	事例検討4：地域振興・地域間交流への貢献
9	事例検討5：ボランティアから持続的事业へ
10	事例検討6：福祉的事业の展開 - ミッションとプロフィット
11	女性起業の現状と課題
12	女性起業を支援する施策・制度
13	女性起業のネットワークおよび高齢者・学生・障害者による起業
14	事業が実現するもの - オルタナティブなマネジメント
15	レポートの発表と講評

評価

出席および事例発表への参加態度(20点)、期末レポート(80点)とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

推薦書：金森トシエ・天野正子・藤原房子・久場嬉子『女性ニューワーク論』有斐閣、1989 366.35/J

地域社会計画センター編『農村の女性起業家たち』家の光協会、1994 611.7/C

岩崎由美子・宮城道子編著『成功する農村女性起業』家の光協会、2001 611.7/S

町田洋次『社会起業家 - 「よい社会」をつくる人たち』PHP新書、2000 335.8/M

科目名	生物統計学		
担当教員名	増田 文夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

実験結果のまとめとして検定が行える能力の基礎教育を目標とします。 教養科目ではありません。

内容

1	基礎統計量
2	第1回平常試験
3	平均値の区間推定
4	平均値の検定
5	第2, 3回の平常試験
6	2つの母集団の平均値の検定
7	第4回平常試験
8	対応のあるデ - タの平均値、等分散性の検定
9	第5, 6回平常試験
10	相関係数の検定、回帰係数の検定
11	第7, 8回平常試験
12	独立性の検定
13	第9回平常試験
14	分散分析
15	第10回平常試験

評価

平常試験(50%)、出席状況(50%)を勘案して評価します。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】増田文夫著 『関数電卓による統計学』 (株)ア - キテクト

【教科書の購入方法】専用の郵便振替用紙を使って入金してください。窓口で支払う金額は(手数料も含めて)1,000円です。食物栄養学科は必須科目ですので即日購入してください。

【電卓】必須 CASIO製 fx-913ES(他の機種は不可)

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	塩田 伊都子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	10クラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	神山 輝夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Dクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	神山 輝夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Eクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Fクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Gクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎(1回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎(2回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎(2回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習(6回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習(2回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習(2回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体(USBメモリ)については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	塩田 伊都子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Hクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状(福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎(1回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎(2回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎(2回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習(6回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習(2回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習(2回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体(USBメモリ)については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	11クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状（福祉） / 小学校教諭一種免許状		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1．学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎（1回）

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2．ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎（2回）

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3．ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎（2回）

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4．ワードプロセッサの操作演習（6回）

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5．プレゼンテーションソフトの操作演習（2回）

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6．表計算ソフトの操作演習（2回）

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体（USBメモリ）については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Jクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)
演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法
2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)
ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用
3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)
ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット
4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)
各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト
5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)
プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫
6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)
データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	綿井 雅康		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1	ク ラ ス	1Kクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	幼稚園教諭一種免許状 / 養護教諭一種免許状 / 栄養教諭一種免許状 / 高等学校教諭一種免許状 (福祉) / 小学校教諭一種免許状		

ねらい (科目の性格 科目の概要 学修目標)

コンピュータ本体、学内ネットワーク、インターネットサービス、アプリケーションソフトの基礎的な操作技能を習得することをねらいとする。課題を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得するとともに、コンピュータを日常的に使用する習慣を身につけ、大学での学習・研究活動を進める上で積極的活主体的に活用する態度を養う。

内容

1. 学内の情報環境とコンピュータ操作の基礎 (1 回)

演習室の利用方法、ログオンの手続き、パスワード変更、コンピュータの基本的な操作方法

2. ウィンドウズの基本操作とファイル操作の基礎 (2 回)

ウィンドウズの概要、マイコンピュータ、ファイルとフォルダー、アクセサリの利用

3. ネットワークの基礎知識とインターネット・電子メール操作の基礎 (2 回)

ネットワークの基本概念、Webの活用と検索、電子メールの操作、情報モラルとネチケット

4. ワードプロセッサの操作演習 (6 回)

各種の文書作成、文字配置と修正、編集機能、表作成、図の貼り込み、レイアウト

5. プレゼンテーションソフトの操作演習 (2 回)

プレゼンテーションの基本概念、ビジュアルプレゼンテーションの作成、表示効果の工夫

6. 表計算ソフトの操作演習 (2 回)

データ入力と編集方法、簡単な統計関数、データのグラフ化、ワープロ文書への取り込み

評価

授業内に出題される各種の課題を提出すること。提出期日や形式については、そのつど指示する。評価は、提出されたものの90点と出席10点により評価を行う。なお、単位認定には4/5以上の出席を要する。

教科書・推薦書 (著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。記憶媒体 (USBメモリ) については授業内で説明する。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1．プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2．表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3．ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4．マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	八木 玲子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Dクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名	上田 啓子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	2Eクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	マルチメディア活用		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年		ク ラ ス	2Fクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

収集した情報を適切に処理し効果的に発信するための基礎的な考え方や知識を理解するとともに、関連するコンピュータアプリケーションの基本的な操作方法を習得することをねらいとする。本科目で学習する知識や技能は、上級学年における学習・研究活動に不可欠である。本科目での課題を通して、コンピュータを学習・研究のツールとして使いこなす能力の育成をめざす。

内容

1. プレゼンテーションソフトの操作演習

スライドの作成、表示効果の工夫、表やグラフの利用、オブジェクトの編集、応用

2. 表計算ソフトの操作演習

ワークシートの作成、セルの操作、関数の利用、グラフの作成、データベース機能の利用、応用

3. ホームページ作成演習

HTMLの基礎、タグの習得、素材の活用、ワードやパワーポイントからHTMLファイルへの変換、Webページエディタでの編集

4. マルチメディア情報の操作

デジタルカメラやイメージスキャナからの入力、Web画像の保存、画像の印刷

評価

授業内で出題される課題を指示された形式で提出すること。提出期日や方法については、そのつど指示する。評価は、課題の提出状況と達成度を90点、出席状況を10点満点で換算し計100点により行う。本科目は、情報処理演習科目なので、単位認定には4/5 以上の出席を要する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業内で、必要に応じてプリントや電子ファイルを配布する予定。印刷用紙を用意しておくこと。

科目名	人間社会論		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- (1) 人間の社会性について、少しでも理解を深めることをめざす。
- (2) 自我の社会性、人間形成における職業活動の意義、豊かな生に不可欠な遊びと文化など、社会的存在としての人間の生の諸相を学ぶ。

内容

1	授業の概要
2	現代人と功利主義
3	幸福と理想
4	人格哲学
5	個人自律と共同性ーカントとヘーゲル
6	職業と人間
7	職業観の変遷
8	仕事の意義と問題
9	専門職と職業倫理
10	現代社会と教養
11	仕事と遊び
12	遊びと解放
13	遊びと文化
14	文化と人間
15	文化と言葉

評価

- ・ペーパーテストと出席によって評価する。
- ・テストに65%、出席点として35% 配点する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	人間社会論		
担当教員名	斉川 富夫		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択,必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- (1) 人間の社会性について、少しでも理解を深めることをめざす。
- (2) 自我の社会性、人間形成における職業活動の意義、豊かな生に不可欠な遊びと文化など、社会的存在としての人間の生の諸相を学ぶ。

内容

1	授業の概要
2	現代人と功利主義
3	幸福と理想
4	人格哲学
5	個人自律と共同性ーカントとヘーゲル
6	職業と人間
7	職業観の変遷
8	仕事の意義と問題
9	専門職と職業倫理
10	現代社会と教養
11	仕事と遊び
12	遊びと解放
13	遊びと文化
14	文化と人間
15	文化と言葉

評価

- ・ペーパーテストと出席によって評価する。
- ・テストに65%、出席点に35% 配点する。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	人間共生論		
担当教員名	青木 孝志		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*,選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

- 1.人はどのような条件のもとにあっても、自分を含めそれぞれの人がかげがえのない個性を持った権利の主体として存在することを理解する。
- 2.現代社会にあって、人間としての尊厳が侵されている具体的場面について理解を深める。
- 3.人間共生社会の実践者としてボランティア等へ積極的に参加できるようになる。

内容

- 1.導入(共生場面の想起)
- 2.人権の歴史
- 3.女性の人権
- 4.子どもの人権
- 5.高齢者人権
- 6.知的障害者
- 7.身体障害者
- 8.精神障害者の人権
- 9.エイズ患者の人権
- 10.ハンセン氏病患者の人権
- 11.同和問題と人権差別
- 12.外国人・少数民族の人権
- 13.犯罪被害者・加害者の人権
- 14.ボランティア活動の意義
- 15.全体の振り返りと試験(記述問題)

評価

筆記試験(記述問題)50点、中間のレポート(2回)50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】松本峰雄『社会福祉と人権問題』明石書房

他に必要に応じ資料等を配布する

【推薦書】熊本日日新聞社編『ハンセン病とともに心の壁を越える』岩波書店 【参考図書】埼玉県人権教育ハンドブック
埼玉県教育委員会

科目名	人間文化論		
担当教員名	夏目 康子		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	介護福祉士		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

人間はどのように子どもに文化を伝えてきたか

- 童謡、童話、絵本、アニメーションなどの媒体を通して

人間はどのように子どもに文化を伝えてきたのかを、主に、英語圏の童謡、童話、絵本、アニメーションなどの媒体を通して考察する。まず、英語圏の伝承童謡であるマザーグースに触れながら、英米の文化を考察する。マザーグースのイラストレーション、児童文学とマザーグース、映画や音楽のなかのマザーグース、子どもの言語習得とマザーグース、マザーグースと食べ物、マザーグースに登場するおばあさんと少女たち、グリム童話や日本の童謡との比較などのテーマに添って、毎回講義を進める。

次に、毎回テーマを変えて、英米や日本の絵本について考察する。絵本から制作されたアニメーションとの比較も行い、子どもへの文化の伝達について考える。毎回、テーマに添ったコメントペーパーを提出してもらう。教科書と配布プリントを使用する。

内容

1	マザーグースのイラストレーションの比較
2	児童文学とマザーグース 『アリス』『プーさん』『ピーターラビット』
3	映画や音楽のなかのマザーグース アガサ・クリスティ、ビートルズ
4	子どもの言語習得とマザーグース イギリスと日本の場合
5	子どもの本の始まり - チャップブック作成
6	マザーグースと食べ物 - お菓子、パイ、プディング
7	マザーグースの女性像 - おばあさんと少女たち
8	マザーグースとグリム童話、日本の童謡
9	絵本研究1 冒険へ旅立つ子どもたち モーリス・センダック
10	絵本研究2 大人と子どもの世界の対立と和解 ジョン・バーニンガム
11	絵本研究3 不思議世界を読む C.V.オールズバーグ『ジュマンジ』
12	絵本研究4 弱虫も孤立も平気 アンソニー・ブラウン、キタムラ・サトシ
13	絵本研究5 重いテーマもユーモアもファンタジーも レイモンド・ブリッグズ
14	絵本研究6 動物たちが主人公 『ミッフィー』『ぐりとぐら』
15	試験

評価

試験70点、平常点(コメントペーパー)20点、出席点10点により評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書

渡辺茂 『マザーグース童謡集』 北星堂書店

推薦書

夏目康子 『不思議の国のマザーグース』 柏書房

夏目康子 『マザーグースと絵本の世界』 岩崎美術社

谷本誠剛 『絵本をひらく』 人文書院

科目名	児童青年期の精神保健		
担当教員名	中村 有		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3,4	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

児童・青年期は、その時期に彼ら彼女らを取り巻くすべての環境が影響し、その大きな変化から強い刺激を受けやすい日々であると考えられています。その日々の中で起こる「児童虐待・学級崩壊・不登校・いじめ・引きこもり・家庭内暴力・リストカット・自殺・薬物依存・ニート」などの多くのセンセーショナルな問題は、まるで社会現象のように扱われています。特に、その時期の「こころ」への介入・改善は複雑かつ難解なものであると意識されるため、多くの大人が足踏みし、敬遠してしまっています。

さて、日々生活していく中で生じてしまう「こころの問題(=精神障害)」をどのように予防し、どのように発見し、どのように治療し、どのように社会へ戻すのか、このようなことを学ぶのが「精神保健」の大切な役目です。そこで、この講義では「児童～青年期」という人生の中でも非常に重要な時期に表面化しやすい「こころの病」に焦点を当てて、その背景にある生物学的・心理的・社会的要因を考察していくことで、問題の実体を正しく理解することを目標とします。

内容

精神保健学は、精神障害を予防・治療して精神的健康を保持・促進する学問分野です。そこで、以下に分類した5つのテーマを中心に、精神保健学的な「考え方(症状への理解)」・「関わり方(症状への介入)」を学んでいきます。全15回の前半では基本的な考え方を学び、後半では実際の症例を学びます。

1. 精神保健を考える - 心の健康を保つために精神医学と精神衛生を活用する -
2. 人格と性格 - 人の気持ちの説明書を読むとわかること -
3. 心の病と精神病 - 神経症・心身症・気分障害・統合失調症 -
4. 適応障害 - 摂食障害・不登校・退却神経症 -
5. 発達障害 - 自閉性障害・注意欠陥多動性障害 -

講義はテキストを中心に進め、情報を補うためにプリントも配布します。具体的には、上記テーマの該当箇所を講読(テキストに解説を加えます)し、理解を深めます。また、臨床心理士として経験した症例・実践例の中からテーマに合うものを毎回紹介することで、講義内容の理解を助けます。

評価

人と向き合う仕事は、約束をした時間に相手の前にいることが最重要であり必須だと考えています。したがって、出席状況は評価の中でも重要な位置づけとして考えるつもりです。そこを基本にペーパーテストorレポートの成果を含めることで、総合的に評価しようと思います。具体的には「出席：40点 ペーパーテスト or レポート：60点」とし、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】鈴木英鷹 著 『精神保健学 第8版』2009 清風堂書店

【推薦書】松橋有子・高野陽 編著 『新 保育ライブラリ 子どもを知る 精神保健』2009 北大路書房

小林芳郎 編著 『精神保健の理論と実際』2004 保育出版社 493.79/ K

池田由子 著 『やさしい精神保健』1993 教育出版

【参考図書】志水 彰・頼藤和寛・水田一郎・岩瀬真生 著 『精神医学への招待 第2版』2005 南山堂

科目名	プレゼンテーション技法		
担当教員名	堀口 秀嗣		
ナンバリング			
学 科	人間生活学部-学部専門科目		
学 年	1,2,3	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

高度情報通信社会では、社会人としての重要な資質の一つとして、プレゼンテーション能力が求められている。短時間で印象的でわかりやすく話し手が聞き手に伝える技術は誰もが身につける必要がある。国際社会で重要な位置を占めることになるだろう日本人は欧米人に負けないプレゼンテーション能力を身に付けておく必要がある。この講義では、紹介型と説得型という2つの代表的なプレゼンテーションを実際に行うことで、体験的にプレゼンテーションの面白さと難しさと重要性を理解する。

また、プレゼンテーションの評価の方法やシナリオ作り、配布資料作りなども経験することで、パワーポイントだけでなく、ワープロや表計算などのソフトと組み合わせて情報を創造し、完成度の高いプレゼンテーションを作り上げることでプレゼンテーションの能力を高める。

さらに、プレゼンテーションは話し手と聞き手が協力して作り上げるパフォーマンスの場であり、聞き手にも重要な役割がある。このことについても実際に実習を通して理解する。

内容

- (1) 発表とプレゼンテーションの違いについて理解する
- (2) 大統領を紹介することで紹介型のプレゼンテーションを行う。また、情報収集として英語サイトを調べることも行い、世界中で8割を占める英語ページを抵抗無く利用できるようになる。
- (3) パワーポイントのアニメーション機能等を駆使した4場面ユーモアストーリーを作成することで、表現力の向上をはかる。
- (4) 社会ではパワーポイントがビジュアル印刷物作成にも多用されていることから、文字、画像、グラフを含むA4サイズのドキュメント作成ができるように作品を作成する。
- (5) Webアンケート調査を作成して実施し、クラス内の結果と全国的なデータを比較考察してスライドを作成する説得型プレゼンテーションを行う。

3回のプレゼンテーションはコンテストの形で実施し、受講者が審査員になり相互評価の結果で評価する。

パワーポイントやワープロやエクセルおよびブラウザを利用してインターネット上の情報を検索し、引用する活動を頻繁に行うので、それぞれの基本的な操作ができることと、他の著作物を利用する場合の出典明記や著作権の理解をはかる。

メラビアン法則やボディランゲージについても理解し、実習を通して身につける。人数によっては、後半はグループで行うこともある。

評価

毎回の提出ファイルの内容を40点、3回の提出物45点、最終講義の時にを行う実技テストの結果を15点満点で評価し、60点以上を合格とする。

無断欠席は1回でも重大な失点になる。必ず事前または直後の講義のときに教員に届け出ること。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【推薦書】関明浩・『表現技術』・電子開発学園出版局 336.4/H

